

多彩な芸術に触れる文化の祭典

第15回 つがる市総合文化祭

11月3日、4日の2日間、松の館を主会場に開催されました。

舞台発表部門では、市内16の文化団体が日本舞踊、コーラス、ダンスなど多彩なステージを披露。作品展示部門では、絵画、生け花、書道など18団体の作品が展示され、訪れた市民らの目を楽しませていました。



つがる逍遙会



稲垣茶道表千家サークル



つがる宝生会



コーラス「華」



いけばな龍生派 車力



つがるこよりの会



旧家模型クラブ

市内在住 現役洋画家

川嶋 悌吉 展

松の館では、95歳の現役洋画家の川嶋悌吉さんの特別展が開かれ、大勢の市民らの心を動かしました。川嶋さんは、長きにわたり中央画壇の場で活躍し、これまでに開かれた個展は35回、作品は5万点を越えています。毎日自宅2階のアトリエで一日のほとんどを過ごし、絶えず創作意欲を燃やしています。

作品の一部は市内の学校や施設に寄贈されており、身近な場所ですぐに川嶋さんの作品に触れることができます。



福島市長と作品を眺める川嶋さん



「陽春の出来島」油彩、F100号(第45回旺玄展出品)

「食と産業まつり」に活気



にぎわいを見せる「食べくらべ屋台村」



あっという間に完売したナガイモとゴボウ



地場産品を使った総菜が人気



三方荒神鹿島獅子保存会のステージ



野菜宝船「つがる丸」



会場に響く「よいしょ!」のかけ声

2日目は、つきたての餅250食の振る舞いや野菜宝船の解体即売会などが大盛況。児童らによる郷土芸能発表など各種ステージも2日間を盛り上げました。

会場では、市内の農産物加工団体や地元企業など30の団体が自慢の逸品を紹介。毎年人気を集めるナガイモゴボウの即売では、ナガイモ3kg 1000円、ゴボウ5kg 800円で販売し、2日間でナガイモ450袋、ゴボウ110袋が完売しました。また、にんにく塩麴を使った料理などを味わえる「食べくらべ屋台村」にも大勢の人が訪れ、会場には活気がみなぎっていました。

市の「つがるブランド」「食」「産業」が一堂に会する「食と産業まつり」が11月23日、24日、木造体育センターを主会場に開催され、大勢の市民らが地元の味覚を楽しみました。

つがるブランド農産物の優良生産者を表彰



高品質農産物生産農家表彰



高品質なつがるブランド農産物の生産者12人を表彰。受賞者は以下のとおりです。(敬省略)

氏名	作物名	氏名	作物名
越後谷隆幸	スイカ	鳴海 春樹	ながいも
野呂 勇介	スイカ	佐々木昭寿	ごぼう
三国谷誠一	メロン	對馬 隆彦	ネギ
新岡 正人	メロン	片山 和末	ネギ
七戸 竹男	りんご	山谷 慎治	トマト
木村 優	お米	長谷川秀樹	トマト